

令和 7 年 2 月 月例記者会見 市長原稿(議案関係)

はじめに、2 月 13 日開会の裾野市議会 2 月定例会に提出いたします議案につきまして、ご説明申し上げます。

まず、令和 7 年度当初予算案についてです。

令和 7 年度一般会計当初予算総額は、当初予算としては前年度を上回り「過去最大」となる総額 236 億 9,200 万円で、前年度当初予算と比較して 21 億 3,000 万円、9.9%の増額となります。

一方、将来投資と財政健全化を両立させることも欠かせないため、最少の経費で最大の効果に繋がるよう、市民目線に立ち、事業検証や優先順位付けの徹底、事務の一層の合理化・効率化を図るとともに、財源には、国県補助金、交付税措置のある地方債、財政調整基金などの各基金を活用し、当初予算を編成いたしました。

特別会計は総額 110 億 1,169 万 3,000 円で、前年度当初予算と比べて 9 億 4,392 万 1,000 円、7.9%の減となります。

事業会計は総額 25 億 3,379 万 8,000 円で、前年度当初予算と比べ 5,536 万 1,000 円、2.2%の増となります。

一般会計、特別会計及び事業会計を合わせた総予算額は 372 億 3,749 万 1,000 円となり、前年度当初予算と比較して 12 億 4,144 万円、3.4%の増となりました。

次に、令和 7 年度の一般会計歳入見込、財源配分につきましてご説明申し上げます。

歳入に関し、普通交付税については、引き続き交付団体を見込むものの、令和6年度の税收増加に伴い大幅な減少を見込みます。

法人市民税をはじめとする市税収入は堅調な回復を見込み、実質的な一般財源総額は136億円を見込みます。

国庫支出金は、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金、児童手当負担金などの増加により増額します。市債も、事業の増加により増額となります。

歳出では、令和6年度人事院勧告に伴う人件費の増額、調整給付事業費、児童手当事業費、自立支援給付費などの扶助費の増額、基幹業務システム管理事業費、予防事業費などの物件費の増額、エネルギー価格、原材料費等の物価高騰に起因する経費の増額を見込みます。これらの義務的経費に一般財源を配分しつつ、収支の状況を勘案しながら、「市長戦略」を着実に推進させるため主要事業などの裁量的経費への配分を行いました。

続いて、令和 7 年度の主要事業について、市長戦略の柱に沿ってご説明いたします。

最初に、1 つ目の柱である「人口と立地企業数の増加」と、2 つ目の柱である「市民の抱える不安の解消」について、あわせてご説明します。

まず、現市政の一丁目一番地である企業誘致を更に進めるため、事業用地の創出に向けた工業用地開発可能性基本調査を実施します。

続いて、市民生活を豊かにする社会基盤整備として、道の駅整備における基本計画の策定、(仮称)御師公園の設計業務及び用地買収への着手、せせらぎ児童公園周辺整備事業、裾野駅西土地地区画整理事業、岩波駅周辺整備事業、都市計画道路平松深良線整備事業を引き続き着

実に推進します。

そして、教育の魅力向上では、東中学校移転に伴う校舎改修実施設計、富岡中学校北校舎の劣化状況調査などハード面に関する施策を実施すると共に、部活動の地域連携の推進、スペシャル・サポート・ルームの増設、学校給食費の負担軽減、最先端のデジタルスキルを学ぶためのデジタル活用課題解決能力学習事業、そして、学校再編に向けた富岡第二小学校と富岡第一小学校の児童の交流授業などソフト事業も充実させます。

続いて、3 つ目の柱である「市民満足度のさらなる向上」についてです。

令和 7 年度は、「日本一の子育て環境」を目指して子育て支援策に力を入れてまいります。

まず、子育て世帯の負担軽減と支援強化のため、高校生までのこども医療費を完全無償化します。更に、富岡・深良保育園をこども園化するための改修工事、こども家庭センターの親子交流スペースの土日開館に向けた環境整備、妊娠期から出産・子育てまで一貫して相談に応じる体制構築、「こども計画」の策定なども行います。

その他、避難所の環境改善のための大型扇風機、携帯トイレ、備蓄品などの更なる充実、高齢者福祉施策の強化、带状疱疹ワクチン接種費用の補助の継続などを実施してまいります。

続いて、4 つ目の柱である「財政健全化の実現」に関する主要事業についてです。

令和 7 年度も公共施設再編をはじめとする長年の課題に真正面から取り組んでまいります。

新美化センターに関しては、3 市 2 町の広域の枠組みの中での建設候補地検討に参加するのと並行して、当市単独でも、民間施設や中間処理施設などの建設候補地の適地調査を行います。

最終処分場に関しては、延命化や将来コスト縮減のため、処分場用地の購入を行います。

新給食センターに関しては、民間活力導入可能性調査を行います。

ヘルシーパーク裾野に関しては、将来の民間活力の導入と修繕費等のコスト算出のための劣化状況調査を実施します。

運動公園に関しては、陸上競技場の公認継続や安全対策のためトラック走路改修の設計業務を実施します。

続いて、5 つ目の柱である「組織の生産性向上」に関し、令和 7 年度の組織改編についてご説明します。

まず、健康福祉部の子育て政策の分野を分離して子育て部を新設します。これにより、少子化対策や子育てニーズに即したきめ細かな支援を強化し、「日本一の子育て環境」の提供を目指してまいります。

また、企業誘致と基盤整備を戦略的に行うため、都市計画課を建設部から市長戦略部に移管します。これにより、企業誘致活動と都市計画との連携や情報共有を密にし、よりスピード感を持った対応が出来るようにします。

その他、市の魅力発信や市長のトップセールスなどを分野横断的な視点で戦略的に実施するための秘書広報課の設置や、個人版と企業版の両方のふるさと納税業務を一元化してプロモーションを強化するため、ふるさと納税強化対策室業務の渉外課への移管などを行います。

以上で、令和 7 年度当初予算案についての説明を終わります。

次に、当初予算以外の主な議案についてご説明します。

第 39 号議案 令和 6 年度裾野市一般会計補正予算(第 12 回)につきましては、既定の予算総額に 9 億 1,600 万円 を追加し、歳入歳出予算総額をそれぞれ 241 億 4,800 万円とするものです。

補正予算の主な内容につきましてご説明します。

先ず歳入では、市税で、好調な企業業績により法人市民税法人割を 2 億円、寄附金で、ふるさと納税寄附金を 1 億 5,540 万円増額します。

次に歳出では、今年の夏までに小学校、中学校の特別教室へエアコンを設置するため教育費を増額します。そのほか、人事院勧告に基づき、人件費を増額します。

令和 7 年裾野市議会 2 月定例会に提出する議案についての説明は以上となります。

特別会計・事業会計の補正予算、その他の議案につきましては、お配りした資料をご覧くださいいただければと思います。